



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月28日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東

コード番号 7477 URL <https://muraki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳田 任俊

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齊藤 徳幸 TEL 042-357-5610

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,140	3.5	162	△12.9	183	△10.6	95	△20.7
2025年3月期第3四半期	5,930	2.4	186	△14.8	204	△13.4	120	△45.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 123百万円 (0.2%) 2025年3月期第3四半期 123百万円 (△45.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 錢	円 錢
2026年3月期第3四半期	67.16	—
2025年3月期第3四半期	84.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,278	2,767	64.7
2025年3月期	3,953	2,691	68.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,767百万円 2025年3月期 2,691百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢 —	円 錢 12.50	円 錢 —	円 錢 17.50	円 錢 30.00
2026年3月期	—	15.00	—		
2026年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
通期	百万円 7,693	% 2.0	百万円 92	% △36.0	百万円 112	% △33.5	百万円 50	% △45.0	円 銭 35.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	1,470,000株	2025年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	50,379株	2025年3月期	50,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	1,419,621株	2025年3月期3Q	1,419,621株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2026年3月期3Q 50,000株、2025年3月期 50,000株）が含まれております。また（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期3Q 50,000株、2025年3月期3Q 0株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げの継続や物価上昇率の鈍化等により、緩やかな回復基調で推移したものの、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、米国政府による関税政策の動向、中国との関係悪化などの地政学リスクの影響により、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループのカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション（略称：SS）業界におきましては、不安定な中東情勢等により原油価格が安定しておりませんが、12月31日のガソリン暫定税率の廃止に向けての政府からの補助金拡充により燃料価格の国内平均価格は段階的に値下がりしております。しかしながら、日用品や食料品等の物価高によりユーザーの節約志向は強いままであり、燃料以外であるカーケア関連商品への購買意欲は厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループのSSにおけるカーケア関連商品の売上につきましては、当期の営業方針を「二つのブランディングを効果的に機能させ、業務効率の向上を実現する」とし、前年度まで行っていた「カスタマイズ提案+定期訪問PLUS」を基本営業として定着させたことにより、売上高は前年を上回る結果となりました。主力商品であるワイヤーブレード・バッテリー・洗車関連商品（高付加価値洗車等）は、前年を上回りましたが、オイルエレメントは苦戦を強いられました。その他の商品につきましては、夏の猛暑に対して行ったカスタマイズ提案により高めたエアコンメンテナンスの需要は、秋の記録的な高温においても、関連商品の売上へつながりました。SS以外への販売領域の拡大は全国で着実に進めており、50件近くの新規顧客を開拓し売上につながっております。販売費及び一般管理費につきましては、「業務レンタカーサービス」事業の増車に関連する費用等の増加により前年を上回りました。

「業務レンタカーサービス」事業においては、「横浜瀬谷店」は貸出車両を増車し順調に推移しております。さらに貸出車両の増車も計画しております。2025年5月23日に開始いたしました「札幌白石店」においても、おおむね順調に推移しております。「札幌白石店」の詳細につきましては、2025年5月9日付にて公表いたしました「「業務レンタカーサービス」新店舗の開始に関するお知らせ」をご参照ください。「横浜瀬谷店」「札幌白石店」の推移を踏まえ、さらなる店舗の開始等を検討しております。

当期の会社方針は「インナー・アウターブランディングを効果的に機能させ、新市場の中で企業の優位性を高める」とし、11月7日に実施いたしました全管理職を対象とした職位別社員研修等を通じ共有した企業理念や企業ブランドの価値をベースに、社外向けブランド戦略を推進し、企業の優位性を高め、業績拡大、企業価値の向上を目指します。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 6,140百万円（前年同期比 3.5%増）、営業利益 162百万円（前年同期比 12.9%減）、経常利益 183百万円（前年同期比 10.6%減）、法人税等 87百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は 95百万円（前年同期比 20.7%減）となりました。

また、当社グループは、カーケア関連商品販売事業を単一の報告セグメントとしており、他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は 3,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ 316百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が 15百万円減少し、受取手形及び売掛金が 330百万円増加したこと等によるものです。固定資産は 1,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ 8百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産のその他のうち、ソフトウェアが 18百万円減少したこと、投資有価証券が40百万円増加したこと、繰延税金資産が 15百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は 4,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ 324百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は 1,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ 225百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 197百万円増加したこと、電子記録債務が 36百万円増加したこと等によるものです。固定負債は 321百万円となり、前連結会計年度末に比べ 22百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が 9百万円増加したこと、株式給付引当金が 10百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 1,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ 248百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,767百万円となり、前連結会計年度末に比べ 75百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益 95百万円、剰余金の配当 47百万円及びその他有価証券評価差額金が 28百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は 64.7%（前連結会計年度末は 68.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日付「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想数値から変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,435,397	1,420,066
受取手形及び売掛金	847,270	1,178,043
电子記録債権	95,165	100,993
商品及び製品	257,854	259,144
その他	49,564	43,157
貸倒引当金	△188	△255
流动資産合計	2,685,065	3,001,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	815,409	815,409
減価償却累計額	△764,849	△767,568
建物及び構築物（純額）	50,559	47,840
機械装置及び運搬具	8,674	24,934
減価償却累計額	△3,241	△15,073
機械装置及び運搬具（純額）	5,433	9,860
土地	480,711	480,711
リース資産	3,672	3,672
減価償却累計額	△2,937	△3,488
リース資産（純額）	734	183
その他	143,742	146,425
減価償却累計額	△133,919	△136,738
その他（純額）	9,822	9,687
有形固定資産合計	547,260	548,283
無形固定資産		
のれん	45,782	42,660
その他	90,336	72,271
無形固定資産合計	136,119	114,932
投資その他の資産		
投資有価証券	222,936	263,000
差入保証金	281,176	287,504
繰延税金資産	67,403	51,708
その他	16,976	14,444
貸倒引当金	△2,951	△2,835
投資その他の資産合計	585,541	613,822
固定資産合計	1,268,921	1,277,037
資産合計	3,953,986	4,278,187

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	583, 154	780, 563
電子記録債務	219, 409	255, 610
リース債務	807	201
未払法人税等	28, 317	49, 268
賞与引当金	30, 996	7, 989
その他	100, 915	95, 864
<b>流動負債合計</b>	<b>963, 600</b>	<b>1, 189, 497</b>
<b>固定負債</b>		
役員退職慰労引当金	60, 350	62, 660
退職給付に係る負債	217, 344	226, 613
株式給付引当金	—	10, 665
繰延税金負債	18, 917	19, 017
その他	2, 600	2, 600
<b>固定負債合計</b>	<b>299, 211</b>	<b>321, 556</b>
<b>負債合計</b>	<b>1, 262, 812</b>	<b>1, 511, 053</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>100, 000</b>	<b>100, 000</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1, 922, 876</b>	<b>1, 922, 876</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>696, 522</b>	<b>744, 102</b>
<b>自己株式</b>	<b>△71, 460</b>	<b>△71, 460</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>2, 647, 939</b>	<b>2, 695, 519</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>43, 235</b>	<b>71, 615</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>43, 235</b>	<b>71, 615</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2, 691, 174</b>	<b>2, 767, 134</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3, 953, 986</b>	<b>4, 278, 187</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,930,146	6,140,362
売上原価	4,536,313	4,716,620
売上総利益	1,393,832	1,423,742
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	597,988	602,637
賞与引当金繰入額	7,983	7,881
役員退職慰労引当金繰入額	7,242	7,110
賞与	16,218	23,444
退職給付費用	13,156	12,891
株式給付引当金繰入額	—	10,665
その他	564,245	596,206
販売費及び一般管理費合計	1,206,833	1,260,834
営業利益	186,999	162,907
営業外収益		
受取利息	1,210	3,106
受取配当金	3,251	3,820
仕入割引	9,130	9,212
その他	4,535	4,251
営業外収益合計	18,128	20,391
営業外費用		
手形売却損	139	6
その他	216	248
営業外費用合計	355	254
経常利益	204,772	183,044
税金等調整前四半期純利益	204,772	183,044
法人税、住民税及び事業税	76,640	87,140
法人税等調整額	7,930	560
法人税等合計	84,570	87,701
四半期純利益	120,201	95,342
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,201	95,342

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	120,201	95,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,238	28,379
その他の包括利益合計	3,238	28,379
四半期包括利益	123,440	123,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,440	123,722
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結貸借対照表に関する注記)

受取手形割引高

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
受取手形割引高	1,452千円	— 千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	26,523千円	28,210千円
のれんの償却額	3,121	3,121

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社グループは、カーケア関連商品販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは、カーケア関連商品販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。